

# 穂高を望む山々縦走登山 報告書

日程 ; 8月20~25日 + 予備日1日

- 一日目 那加~松本~上高地~徳本峠(とくごうとうげ)小屋
- 二日目 徳本峠~蝶ヶ岳~常念岳~常念小屋
- 三日目 常念小屋~大天井岳~ヒュッテ西岳
- 四日目 西岳ヒュッテ~槍ヶ岳
- 五日目 槍ヶ岳~双六小屋~双六岳~三俣蓮華~双六小屋
- 六日目 双六小屋~新穂高~那加

## タイムスケジュール

8月20日(月)

JR ; JR 那加駅 07 : 03 ~ 美濃太田 [07 : 30、07 : 34] ~ 高山 10 : 09 着

バス ; 高山 10 : 20 ~ 平湯温泉 11 : 20 ~ 上高地バスターミナル 12 : 00 着 ~ 明神 13 : 00

登山 ; 明神 13 : 05 発 ~ 水場 14 : 00、: 10 発 ~ 徳本峠小屋 14 : 45 着

コース	コースタイム	実際(休憩含む)
明神~徳本峠小屋	2時間20分	1時間40分

8月21日(火)

起床 ; 04 : 00 朝食など

登山 ; 05 : 15 徳本峠小屋 曇り

06 : 00 明神見晴らし

06 : 45 槍見台(2364.5m) 、06 : 50 発

08 : 40 大滝山(2614.5m)

10 : 00 蝶ヶ岳(2677m) 晴れ 10 : 30 発

13 : 45 常念岳(2857m)

14 : 30 常念小屋(2466m)着

コース	コースタイム	実際(休憩含む)	
徳本峠小屋~大滝山	5時間	3時間25分	- 1時間35分
大滝山~蝶ヶ岳	1時間45分	1時間20分	- 25分
蝶ヶ岳~常念岳~常念小屋	4時間45分	4時間	- 45分
計	11時間30分	8時間45分	- 2時間45分

8月22日(水)

起床 ; 04 : 00 朝食など

登山 ; 05 : 00 常念岳キャンプ場 曇り 、

07 : 30 大天井岳(2921.9m) 08 : 00 発

10 : 10 ヒュッテ西岳着 曇り + 強風

散策 ; 西岳(2758m) 往復

コース	コースタイム	実際(休憩含む)	
常念小屋~東天井岳~大天荘(大天井岳)	3時間30分	2時間30分	- 1時間
大天荘~大天井ヒュッテ~ヒュッテ西岳	3時間20分	2時間40分	- 40分
計	6時間50分	5時間10分	- 1時間40分

8月23日(木)

起床 ; 04 : 30 朝食など 雨 + 強風  
 登山 ; 06 : 30 西岳キャンプ場 曇り  
 07 : 15 水俣乗越  
 08 : 30 ヒュッテ大槍(2884m)  
 09 : 20 槍ヶ岳山荘

散策 ; 槍ヶ岳山頂(3180m)、大喰岳(3101m)、中岳(3084m)

コース	コースタイム	実際(休憩含む)	
西岳キャンプ場~水俣乗越	1時間	45分	- 15分
水俣乗越~ヒュッテ大槍~槍ヶ岳山荘	3時間	2時間5分	- 55分
計	4時間	2時間50分	- 1時間10分

8月24日(金)

起床 ; 04 : 30 曇り  
 登山 ; 07 : 00 槍ヶ岳キャンプ場 晴れ  
 07 : 40 千丈沢乗越(2734m)  
 09 : 00 樺沢岳(もみさわだけ) (2755m)  
 10 : 00 双六キャンプ場 テント設営、10 : 50 発(サブザック)  
 11 : 30 双六岳(2860.3m) 行き(稜線ルート)  
 12 : 30 三俣蓮華岳(2841.2m)、12 : 50 発 帰り(巻道ルート)  
 14 : 10 双六キャンプ場

コース	コースタイム	実際(休憩含む)	
槍ヶ岳キャンプ場~双六小屋	3時間50分	3時間	- 50分
双六小屋~双六岳~三俣蓮華岳(サブ)	2時間10分	1時間40分	- 30分
三俣蓮華岳~双六小屋	1時間40分	1時間20分	- 20分
計	7時間40分	6時間	- 1時間40分

8月25日(土)

起床 ; 04 : 30  
 登山 ; 05 : 30 双六キャンプ場  
 06 : 30 弓折岳(2588.4m)  
 07 : 00 鏡平山荘、07 : 10 発  
 09 : 10 わさび平小屋  
 10 : 00 新穂高温泉(1090m) 入浴など

バス ; 新穂高 11 : 40 ~ 高山 13 : 12

JR ; 高山 14 : 48 ~ 美濃太田 [17 : 20、17 : 36] ~ 那加 18 : 01

コース	コースタイム	実際(休憩含む)	
双六キャンプ場~弓折岳~鏡平山荘	1時間50分	1時間30分	- 20分
鏡平山荘~わさび平小屋	2時間40分	2時間	- 40分
わさび平小屋~新穂高温泉	1時間5分	50分	- 15分
計	5時間35分	4時間20分	- 1時間15分

悪天候時のエスケープ

蝶ヶ岳から三股へ

常念岳からヒエ平へ

西岳、水俣乗越～槍沢経由、上高地へ

槍ヶ岳～槍沢経由、上高地へ

装備； 一人用テント、メインザック、サブザック、寝袋、レインウェア  
断熱マット、ヘッドランプ、予備電池、防寒着、ガス缶大×2  
クッカー、バーナーヘッド、ゴミ袋、トイレトーパー  
風呂セット、身分証、救急セット、非常食&行動食、ザックカバー  
登山計画書、ラジオ、着替え、お米8合

### 食料計画

	朝	昼	夜
8月20日			ご飯+ミートボール
8月21日	お茶漬け	パン	カレーライス
8月22日	ご飯+シーチキンマヨ	カロリーメイト	ラーメン
8月23日	カロリーメイト	鳥南蛮丼(小屋)	レトルト丼
8月24日	お雑炊	スパゲッティ	五目ちらし
8月25日	レトルト丼		

### 備考

ザック総重量； 約20kg

氏名； 藤田琢也 フジタタクヤ

年齢； 21

血液型； 0

所属； 京都産業大学 探検部

## 感想

### 一日目

実家近くの駅からまずは、高山へ。

そのあとはバスに一時間半ほど揺られ、上高地入り。

この日は快晴で、河童橋からバッチリ穂高が見えていました。

観光客も多くて、バスにせよ散策路にせよ、登山客は完全にアウェーな雰囲気。

### 一時間ほどで明神に到着

予定では徳沢で泊る予定でしたが、面白さに欠けるので今まで泊ったことの無い、徳本峠(とくごうとうげ)小屋のキャンプ場で泊ることにしました。徳本峠までは思ったよりもキツイ感じでは無かったです。ただ、新島々へ抜ける道は途中で橋が流されているようで、通行不可能。

他にはテントが二張り、蝶ヶ岳から抜けてきた方々でした。小屋に泊るかたは翌朝に、霞沢岳(2645.6m)へ登られるそうです。ちょうどバスターミナルの真上に見えている山なので、山頂から見る穂高はかなり綺麗でしょうね。一回行ってみたいです。

この日の総歩行時間は2時間半くらい。

## 二日目

この日が一番きつかった・・・。計画書では蝶ヶ岳までの予定でしたが、早めについたら常念まで行こうと思って出発しました。

まずは、徳本峠から大滝山へ

ここはずっと森のなかで、しかもガスっていたので熊が怖かった。笹に囲まれながらの歩行で誰にも会うことが無く、ただひたすら三時間歩き続けました。

高低差は殆どないので山行自体は楽チンでしたが、とにかくビビリながら歩いていました。

大滝山の小屋は営業が既に終了していて、張り紙の注意書きには最近、小屋の周辺に熊が出没しているので、テント宿泊者は十分注意するようにとのことでした。

小屋が営業していないときに、大滝山キャンプ場に泊るのは止めたほうがいいです。

## 大滝山～蝶ヶ岳

この辺りからは晴れてきて、目の前に蝶ヶ岳を見ながらの急な登りが一時間半ほど。

そして、登りきった先には、穂高の山々が悠然と、まるで写真のようにひろがっていました。写真一枚には到底収まりきれないほど大きかったです。

この時点で10時だったので、いけるだろうということで常念小屋を目指しました。

## 蝶ヶ岳～常念岳

二つほどピークを越えなければならず、一番大変でした。蝶ヶ岳までは景色もよく歩きやすい道だったのですが、下りに入ると森の中に入って行って、登る、また下るといふことの繰り返しでした。そのあとには標高差300m以上の、岩場の登りが控えており、登りきって常念岳山頂に立ったときは、本当にへ口へ口でした。あいにく山頂付近は風が強く、穂高方面からは雲が湧いてきており、山頂からの絶景を拝むことはできませんでした。

そして常念小屋に到着したのが、午後2時過ぎ。

ここでは早稲田のアウトドアサークル?の集団に出会いました。槍まで一緒でした。

## 三日目

常念キャンプ場での朝は相変わらずガスっていて、風も強めいつものことながら、7時ぐらいには晴れてきます。

この日は常念から大天井を通過して、西岳まで。

この縦走路は今回の旅の中で一番快適でした。歩きやすいし、景色もよかったです。

もうすこしゆっくり歩けばよかったかなとも思います

ただ、昼過ぎからは予報どおり天気が崩れ始め、風が強くなりました。

西岳に着いたときはまだ良かったのですが、早稲田の集団が到着したときにはだいぶ風が吹き荒れていました。

西岳キャンプ場は稜線上にあるため、安全地帯がほとんどなく、5張り程度の場所に、他の皆さんとかたまってテントを張りました。

この日は凄かった。

ほんとに暴風雨で、隣の大型テントではポールが破損したようですし、自分のテントでもポールがほんの少し曲がりました。体感的には台風以上です。

## 四日目

5時頃までは風が強く、出発が危ぶまれましたが、なんとか6時には持ち直したので一路、槍ヶ岳へ

槍までの道は急な下りのあと、急登でした。でも目の前にいつも槍が見えているので、気持ちは上々です。ヒュッテ大槍の手前で、雷鳥も見れました。

立山辺りでは見かけるのですが、槍の近くで見られるとは驚きです。槍の直前ではあいにくガスってしまいましたが、雷鳥にも会えて大満足の山行でした。そのあとはテントを張って、山荘前のベンチで休憩。

そして、自分への御褒美として昼食は山荘でいただきました。

「鳥南蛮丼」

泣きそうになるくらい最高でした。  
ここでのあったかいお茶もおいしかったです。

午後からは晴れてきたので、槍ヶ岳山頂を制覇！  
あいにく穂高方面は曇っていましたが、北側は綺麗にみえていて、遠くには劔岳を拝むことができました。

### 五日目

この日は槍から双六までの景色の良い縦走路。  
ここも良かったです。後ろには常に槍がそびえていますし、前方には鷲羽岳や三俣蓮華などといった北アルプス深部の山々が控えており、また今までで一番の天気にも恵まれました。双六キャンプ場に着いた後は、テントに荷物を置いてサブザックにて双六岳&三俣蓮華を縦走してきました。  
ここも凄かったです。まるで別世界のよう。目の前には北アルプス最奥の山々が堂々とひかえており、凄まじく壮大な風景でした。ここへ何回も来てしまう人たちの気持ちが分かったような気がします。

個人的には、立山&劔岳と並んで好きな山域となりました。

### 六日目

最終日、双六から新穂高への下山。  
途中でも槍が見えていたりしていました。ただ、晴れすぎて暑かったです。  
槍を望む宿として有名な「鏡平山荘」などを通り過ぎ、新穂高に到着しました。ここでは登ってくる登山者、特に中高年の方が多かったです。ただ、初心者のような感じの人が数多くいて、この先の登り大丈夫？と思ってしまいました。  
ここで、この旅最大の悪路が待ち構えていました。  
『林道』という名のモンスター  
なぜ砂利ではなく、コンクリートやアスファルトの道が1時間近くも続くのか・・・。  
この最後の難関には、本当に泣きそうになりました。  
新穂高に着いて無料の温泉に入ったあとは、高山までバスで移動し、JRにて実家へ帰りました。

感想としては、来年の夏、みんなで双六&三俣に行きましょう  
景色は今まで見た中で、一番良い！！  
個人的には「劔の岩登り」と「雲の平付近の景色」が一番山を満喫できる山行だと思います。